

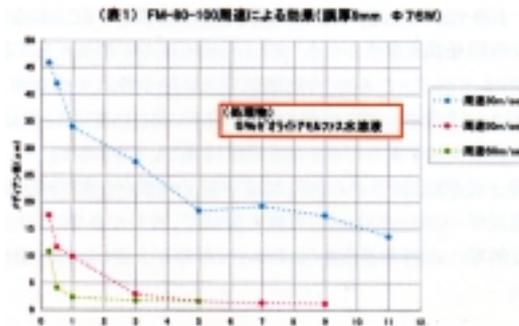
各種粉体の高精度湿式分散制御技術の確立 (薄膜巡回型湿式分散機の利用による)

企業 / 特殊機化工業(株)

研究者 / 東谷公 (京都大学工学部化学工学教室教授)

多くの材料製造プロセスの原料調整、粉碎、混練、混合、成形段階で、材料となる粒子は媒体中に懸濁しているが、これらの粒子の分散状態を生成材料の用途に合わせて任意に制御することは、極めて大切である。しかし非常に困難でもある。本開発による薄膜巡回型湿式分散機を用いると今迄以上に高度な分散制御を行うことができる。

難分散性のゼオライトアモルファスの分散に対し、タービンの周速に応じサブミクロンからナノメートルに至る範囲で、自由に分散粒子径をコントロールする技術の目途がついた。



周速による分散効果